



2022年2月14日

各 位

会 社 名 西本Wismettacホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 洲 崎 良 朗
(コード番号：9260 東証市場第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 佐 々 祐 史
(TEL. 03-6870-2015)

2021年12月期通期業績予想値と実績値との差異 及び配当予想の修正に関するお知らせ

2021年8月12日に公表いたしました2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2021年8月12日に公表いたしました2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）の期末配当予想につきましても、下記のとおり修正いたしますので併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異について

(1) 2021年12月期 通期業績予想値と実績値との差異（2021年1月1日～2021年12月31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (2021年8月12日公表)	200,000	5,500	5,100	3,800	264円75銭
実 績 値 (B)	213,248	7,301	7,204	5,028	350円34銭
増 減 額 (B-A)	13,248	1,801	2,104	1,228	
増 減 率 (%)	6.6	32.8	41.3	32.3	
(ご参考) 前 期 実 績 (2020年12月期 連結)	168,449	1,982	1,715	1,016	70円80銭

(2) 差異の理由

当連結会計年度は、新型コロナウイルス感染の沈静化と再拡大の波が繰り返される中、欧米地域を中心としたワクチン接種の進展、営業規制の緩和等が進み、また活発な消費需要にも支えられ、主力のレストラン向け販売は全般的に順調な回復基調を辿りました。また、堅調な中食・内食需要に支えられたグロサリー向け販売も引き続き好調を持続いたしました。

利益面では、増収による利益回復に加え、デリバリー・テイクアウト向け商品の拡充、商品調達原価、人件費、海上運賃等の物流費の上昇を吸収するための価格調整等の各種営業施策が奏功し、大幅な増益となりました。それらの収益状況をふまえ、2021年8月12日に通期連結業績の修正予想を公表いたしました。

当該修正予想の公表以降も、懸念された冬期に向けた新型コロナウイルス感染症の再拡大や規制強化による売上への影響は限定的に留まり、調達原価、物流費、人件費等の上昇による収益圧迫についても修正予想公表時に想定した水準には至らず、売上高及び利益ともに、通期連結業績の修正予想を更に上回る結果となりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 2021年12月期配当予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年8月12日公表)	—	45円00銭	80円00銭
今回修正予想	—	70円00銭	105円00銭
当期実績	35円00銭	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期 連結)	0円00銭	20円00銭	20円00銭

(2) 修正の理由

当社は、将来の事業展開と財務体質強化のため内部留保を確保しつつ、安定的に配当を継続して実施していくことを基本方針としております。配当性向を重要な指標とし、通期30%程度の連結配当性向を目安としております。

2021年12月期の期末配当につきましては、2021年8月12日「2021年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異、通期連結業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表の通り、期末配当の予想を1株当たり45円とし、年間配当1株当たり80円を予定しておりました。

2021年12月期の期末配当については、上記の方針及び本日公表の通期業績結果をふまえ、1株当たり70円に修正させて頂くことといたします。

以上